

### 1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	英語資格対策Ⅱ		( NKT13G )
講義名 (コード)	英語資格対策Ⅱ A		( NKT13GA )
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	仲 恭子	時間数	30
成績評価教員	仲 恭子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

### 2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検準2級合格を目指す。
全体の内容と概要	英検準2級レベルの単語や表現を学び、合格に必要な英語力を身につける。
授業時間外の学修	復習をしてください。
履修上の注意事項等	なし

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	「趣味」がテーマの文章を理解し、自分の趣味について話せる	単語、表現、文法（動詞tryの用法）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
2	「意見を言う」がテーマの文章を理解し、自分の意見を言える	単語、表現、文法（動名詞を目的語にとる動詞／知覚動詞、使役動詞）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
3	「旅行」がテーマの文章を理解し、旅行について話せる	単語、表現、文法（接続詞weather）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
4	「誘う」「予定」がテーマのメールを理解し、テーマのメールが書ける	単語、表現、文法（未来進行形）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
5	「誘う」「案内」がテーマのメールを理解し、テーマのメールが書ける	単語、表現、文法（if）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
6	「店内」「社内」放送がテーマの文章を理解できる	単語、表現、文法（命令文+and）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
7	「劇場」「美術館」の案内がテーマの文章を理解できる	単語、表現、文法（動詞remindの用法）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
8	説明文が理解できる①	単語、表現、文法（関係代名詞の非制限用法）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
9	説明文が理解できる②	単語、表現、文法（分詞構文）を音を中心とした学習をし、英語の語順で英語を処理できるように学ぶ。
10	英検準2級の過去問の様式に慣れる	英検の得点分布を解説。実際に問題を過去問を解く。
11	英検準2級過去問の解き方を理解する①	過去問のフィードバックをする。
12	英検準2級過去問の解き方を理解する②	過去問のフィードバックをする。
13	総復習	間違えやすい項目を、定着していない項目を中心に復習をする。
14	テスト	テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	つきっきり英検準2級（旺文社）
参考文献・資料等	英検過去問（英検公式ホームページ）・英検準2級総合対策教本（旺文社）
備考	